

|  |   |
|--|---|
|  <p>そうふうPartⅡ<br/>爽風<br/>発行者：校長 下地美和子</p> | <p><b>学校教育目標</b><br/>創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成</p>                              |
|  | <p><b>目指す児童像</b><br/>・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子<br/>・当たり前のことを一生懸命にやる子(凡事徹底)</p> |
| <p>★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小</p>  |   |

**地域連携「招待給食」～始まりました。  
地域でお世話になっている方をご招待！**

今年も下地小に関わる方々を給食に招待し、お話をさせていただき取り組みを続けています。

地域教育資源ひと・こと・ものと関わり、地域「下地」を理解し大切に思う子どもの育成の一環として、地域の方や下地小のために尽力して下さる方にご来校いただき、子ども達と楽しく給食をとりながら、その方ならではの話を子ども達へのメッセージとしてお話させていただいています。

1学級でしかお話が聞けないので、給食後、校長室で「ビデオメッセージ」を録画して、後日、オンラインで全校児童に紹介しています。

今回は2名の方をご紹介します。



**□5月14日 第6回  
藤原忠康(ただやす)さん来校～6年生と一緒に給食を頂きました。**

コロナ禍が明けた令和5年度、下地小学校のPTA会長としてPTA活動を盛り上げてくれました。



農業を営む藤原さんは、農薬を使わず自然農法でサトウキビを育て、収穫して絞り、砂糖と黒糖蜜、ラム酒の原料を作っています。6年生には、良い言葉を使う大切さについて話してくれました。

「土にも心がある」「感謝すると作物を豊かに育ててくれる」また、言葉の持つ力として、娘さんが実験した動画は、いい言葉を伝えて育てた花と、よくない言葉を伝えて育てた花の違いがはっきり分かる内容でした。いい言葉を聞いて育った

花は雨に打たれても生き生きと育ち、よくない言葉を聞いて育った花は、同じ雨でも元気がなくぐったりと倒れていました。「人間も同じかもしれない」と思うと、ドキッとしました。

また、「ありがとう」「愛・感謝」と言って撮った水のきれいな結晶の写真を見せてくれましたが、「ばかやろう」といって撮った水の結晶の写真は、結晶にすらなっていませんでした。

「自分の発した言葉は自分の耳が一番近くできいていますよ。」と話してくださいました。

「言葉は言霊(ことだま)」とよく聞きます。毎日発して、耳にする言葉、言葉をたくさん使っていい影響を受け、下地小のみんなが生き生きした元気いっぱいの人に成長してほしいですね♥

学校でも、よりよい言葉の言語環境を心がけます。保護者の皆様も、子ども達にたくさんのいい言葉の声かけをお願いします。みんなで取り組むと効果アップですね。よろしくをお願いします。

今回は、言葉の大切さを学ぶことが出来ました。藤原忠康様、ありがとうございました。

**藤原さんより  
下地小みんなへのメッセージ！**

みなさんに、『ありがとう』という言葉、たくさん使ってほしいです。  
雨のおかげでサトウキビもすくすく育つので『ありがとう』。みんなが着ている服や靴も、みんなを守ってくれているので『ありがとう』です。先生やおうちの方、お友達みんなに、たくさん『ありがとう』を使ってほしいです。



□第7回、5月28日、友利一雄さん  
～5年1組と。

下地小・中学校には、所有している畑があります。これは以前学校を建てる時に誘致した土地だそうです。現在の土地に小中学校が建設されたので、その余った土地は農家の方にお貸しして小作料を頂くシステムになったそうです。



その小学校の土地を小作していらっしゃるのが友利一雄さんですが、いつも小作料を相場より多く、「子ども達に役立ててください」と、寄付もかねて支払ってくれています。PTA 費に計上して活用させて頂いています。一雄様、ありがとうございます。

さて、一雄さんは元々城辺の西城出身ですが、以前沖縄製糖工場に働いていた関係で下地の団地に住み、幼小中の PTA 活動でもがんばってきた方です。現在は農業を営んでいます。

「私の名前は、一雄といいます。「世界一英雄」の一雄です。笑」とナイスな自己紹介から始まりました。サトウキビを27・8年作っているそうです。「農業をするには土作りがとても大切なように、何でも基礎作りが大切です。小学生の皆さんの基礎作りはルーティン。とても大事。日々ルーティンがしっかりしていれば日常生活が整いますよ。」と話してくださいました。

また、「地域の知っているおじさん、おばさんに会ったら『おじさん元気ですか?』とか『ありがとうございます』とかあいさつなどしてね。子どもみんなが声をかけたら大人の人はとても嬉しいし、日々大人の人がんばれる。声をかけあうという事は一番大事。声をかけたら、大人の人みんな皆さんを応援します。黙っていたら損をしますよ。『声をかける』と言うことは、人生の分かれ道です。」と話してくださいました。



こども園の PTA 時代に、先生が木陰がほしいといたのでたくさん木を植えたそうです。「その木が大きくなって嬉しいです。」とも話してくださいました。

下地小の5年生は今年、総合的な学習の時間に「農業」をテーマに取り組む予定です。早速、今年度「バケツ稲」にも挑戦しています。二学期からは野菜の育成にも取りかかります。

明るく元気いっぱいの一雄さん、今後も5年生と関わって色々教えてください。これからもお元気で過ごしてください。

友利一雄様、ありがとうございました。

**友利一雄さんより  
下地小みんなへのメッセージ!**

良い野菜や花を育てるには基本の土作りが一番大事です。皆さんの基本は、日々のルーティンです。朝起きる時間、夜寝る時間、朝学校に行く時間などを決めることです。ルーティンが決まると、自分の体の調子も整ってきますので、よいルーティンを身につけて下さい。それが皆さんの基礎づくりです。

また感謝の気持ちを持ちながら地域のおじさんやおばさんに声をかけて下さい。声をかけてくれる子には応援したくなります。きっとよりよい人生が開けてきますよ。

下地地域の方々のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

